

議会だより



初 議 会

平成 26 年 12 月
第 153 号

町のホームページで議会だよりや議会の
会議録等を見ることができます。

<http://www.town.ichinomiya.chiba.jp>

一宮議会だより

検索

一宮町議会新体制決まる

- ・臨時議会（初議会） (2)～(3)
- ・9月定例議会で決まったこと (4)～(5)
- ・決算討論・決算質問・回答 (6)～(7)
- ・一般質問6名の議員より (8)～(13)
- ・議会報視察研修報告
・議会の主な動き・編集後記 (14)

平成26年11月11日に開催された第4回臨時議会（初議会）では、議長及び副議長の選挙をおこない議長に島崎保幸氏、副議長に吉野繁徳氏が選出されました。

その後、議会運営委員会、3つの常任委員会及び議会報編集委員会の委員を選出し、それぞれ正副委員長を互選しました。

さらに、長生郡市広域市町村圏組合議会議員、千葉県後期高齢者医療広域連合議会議員、一宮聖苑組合議会議員が選出されました。

また、議会選出の監査委員には、舩場博敏氏の選任が同意されました。

新たなメンバーでスタート

議長に島崎保幸氏

副議長に吉野繁徳氏

議長

島崎保幸



就任あいさつ

この度、議員の皆様方のご推挙をいただき、不肖私、一宮町議会議長の要職に就くことになり、身に余る光栄と思う次第でございます。

浅学非才ではありますが、ご推挙を受けた以上は身を挺してご厚情に報いる覚悟でございます。

いま都市部では景気回復の兆しが見られるものの、町村は少子・高齢化や過疎化の中で、依然として厳しい経済・雇用情勢に悩まされ、地域の活力は減退しています。

加えて、東日本大震災と原子力発電所事故による影響は、被災地のみならず我が国社会全体に及んでお

り、本格的な復興に向けてまだまだ多くの課題が山積しております。

我が町においても「安全安心な町づくり」・「住んで良かった」と言える町づくりをめざし、議会と町が車の両輪として、町の発展と住民福祉の向上のために誠心誠意努力してまいります。

今後とも、関係各位を始め、住民の皆様方のご支援とご協力を賜りますようお願いを申し上げます。

副議長

吉野繁徳



就任あいさつ

今般、議員の皆様のご支援を賜り副議長に就任することになりました。

微力でございますが、議長を支え、良き相談相手となれるよう精進してまいります。

ます。

現在、地方財政はまだ厳しい状況下にあり、駅東口の開設など町には、色々とこれから取り掛かるべきものが山積みとなっております。

今後、執行機関と議会が切磋琢磨することにより、一宮町の発展と福祉向上のため、誠心誠意答えていく所存でございます。

皆様の一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

一宮町議会 新体制決まる

各常任委員会 構成決まる

総務文教

当委員会は、議員6名で構成されており、総務課・まちづくり推進課まちづくり推進グループ・税務住民課課税グループ・徴収グループ・会計課・教育委員会・議会事務局・選挙管理委員会・固定資産評価審査委員会・監査委員の所掌に属する事項の審査及び調査をおこないます。

また、他の常任委員会の所掌に属さない事項の審査及び調査もおこないます。



委員 島崎保幸



副委員長 小安博之



委員長 志田延子



委員 藤乗一由



委員 藤井敏憲



委員 森 佐衛

経済

当委員会は、議員5名で構成されており、事業課建設グループ・環境グループ・都市計画グループ・農業グループ（農業委員会）・まちづくり推進課商工観光グループの所掌に属する事項の審査及び調査をおこないます。



委員 畑場博敏



副委員長 鵜野澤一夫



委員長 鵜沢清永



委員 小林正満



委員 秦 重悦

厚生

当委員会は、議員5名で構成されており、税務住民課住民グループ・保険年金グループ・福祉健康課福祉グループ・健康グループ・介護グループ・子どもグループ・保育所計画推進室・保育所の所掌に属する事項の審査及び調査をおこないます。



委員 吉野繁徳



副委員長 袴田 忍



委員長 鵜沢一男



委員 藤井幸恵



委員 渡邊美枝子

議会運営委員会

委員長 秦 重悦

副委員長 小安博之

委員 志田延子

委員 鵜野澤一夫

委員 袴田 忍

委員 鵜沢一男

委員 鵜沢清永

長生郡市広域

市町村圏組合議員

島崎保幸

鵜野澤一夫

千葉県後期高齢者医療

広域連合議会議員

袴田 忍

一宮聖苑組合議員

秦 重悦

議会報編集委員会

委員長 藤乗一由

副委員長 小安博之

委員 鵜野澤一夫

委員 渡邊美枝子

委員 小林正満

委員 藤井幸恵

監査委員

畑場博敏

9月定例議会・補正・条例制定・条例改正

平成26年第3回一宮町定例議会は、9月17日に開催され、町長の行政報告の後、6名の議員が一般質問をおこないました。

また、議案として承認1件、報告2件、平成25年度各会計の決算認定5件、条例の制定5件、条例の一部改正1件、平成26年度各会計の補正予算5件、発議2件が提出され、全て原案どおり可決しました。



(舞踊) 夢しぐれを披露 一宮詩舞クラブの皆さん

一般会計補正予算（第3次） 専決処分を承認

歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ3百56万円を追加し、総額を42億3千1百85万1千円とするものです。

主な内容は、6月7日の大雨により被災（路肩決壊など）した道路などの復旧費用2百80万4千円や、町民憲章移設費用75万6千円などである。

財源としては、庁舎建設基金75万6千円と前年度繰越金2百80万4千円をあてるものです。

公立保育所の民営化法人 選考委員会設置条例の制定

公立保育所の民営化（社会福祉協議会を含む）にあたり、公募要領、選定基準等を策定し、公平かつ適正に法人の選考をおこなうための委員会を設置する条例を制定するものです。

家庭的保育事業等の設備及び 運営に関する基準を定める 条例の制定

幼児期の学校教育・保育の総合的な提供、地域の子ども・子育て支援の充実を目的とした「子ども・子育て支援新制度」（平成27年4月から）の開始に向けた『児童福祉法』の改正により、家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例を制定するものです。

特定教育・保育施設及び特定地域 型保育事業の運営に関する基準を 定める条例の制定

幼児期の学校教育・保育の総合的な提供、地域の子ども・子育て支援の充実を目的とした「子ども・子育て支援新制度」（平成27年4月から）の開始に向けた『子ども・子育て支援法』の制定により、特定教育・保育施設の運営に関する基準及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例を制定するものです。

いじめ防止対策推進条例の制定

いじめ防止基本法及び千葉県いじめ防止対策推進条例を踏まえ、学校におけるいじめの防止等の対策に関し、基本理念を定め、町等の責務や取り組むべき施策等必要な事項について、条例を制定するものです。

放課後児童健全育成事業の設備 及び運営に関する基準を定める 条例の制定

子ども・子育て支援法及び就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律「子ども・子育て支援法整備法」により、児童福祉法の一部が改正され、厚生労働省令で定める基準を、町の条例で制定するものです。

町営テニス場並びにゲートボール 場の設置及び管理に関する条例の 一部改正

町営テニス場の夜間照明撤去にともない、午後4時30分以降の使用料及び照明灯使用料を削除するものです。

報告

健全化判断比率及び資金不足比率

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、平成25年度決算の一宮町健全化判断比率及び農業集落排水事業特別会計の資金不足比率の報告がありました。各指標とも基準値の範囲内にはあるが、財政運営は大変厳しい状況との説明がありました。

※比率に数値が入っていないのは黒字のためです。

健全化判断比率

項目	一宮町比率 ()は前年度数値	早期健全化基準 (イエローカード)	財政再生基準 (レッドカード)
実質赤字比率	—	15.00	20.00
連結実質赤字比率	—	20.00	30.00
実質公債費比率	9.1 (10.0)	25.0	35.0
将来負担比率	38.5 (29.4)	350.0	

資金不足比率

会計名	一宮町比率	経営健全化基準 (イエローカード)
農業集落排水事業特別会計	—	20.00

一般会計補正予算（第4次）

歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ3千9百52万2千円を追加し、総額を42億7千1百37万3千円とするものです。

主な内容は、人事異動等による人件費の増額1千8百11万3千円や、九十九里トライアスロン2014への補助金1千万円、社会保障・税番号制度の運用開始に向けた既存システムの改修経費7百9万3千円などである。財源としては、地方特例交付金76万円、国県支出金1千9百48万8千円、前年度繰越金1千9百27万4千円をあてるものです。

国民健康保険事業特別会計 補正予算（第1次）

歳入歳出予算の総額から、歳入歳出それぞれ90万2千円を減額し、総額を14億9千4百71万4千円とするものです。

主な内容は、人事異動に伴う人件費の減額1百95万円、特定健康診査受診者の増による委託料の増額95万7千円などである。

介護保険特別会計 補正予算（第1次）

歳入歳出予算の総額から、歳入歳出それぞれ9万5千円を減額し、総額を10億3百46万5千円とするものです。主な内容は、人事異動等に伴う人件費の減額2百86万2千円、25年度支払基金交付金の清算により、超過交付分2百76万7千円を返還するものです。

後期高齢者医療特別会計

補正予算（第1次）

歳入歳出予算の総額から、歳入歳出それぞれ4百23万4千円を減額し、総額を1億1千8百84万円とするものです。

内容は、人事異動に伴う人件費の減額4百23万4千円である。

農業集落排水事業特別会計

補正予算（第1次）

歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ36万8千円を追加し、総額を1億3百84万4千円とするものです。

内容は、東浪見地区の公共枡移設工事費7万5千円、北部地区農業集落排水処理施設機械設備修繕費29万3千円である。

臨時議会

平成26年第3回臨時議会は、7月11日に開催され、議会の推薦の農業委員会委員の選出をおこないました。委員には、次の2名の方が、全員賛成により選ばれました。

一宮町東浪見（原区） 小安 博之さん

一宮町新地（新地区） 井桁 繁さん

平成25年度決算を認定

平成25年度一般会計他4特別会計は、原案のとおり認定されました。審議の中で出された質問や討論は、次のとおりです。

会 計 名		収入額	支出額	差引金額
一 般 会 計		5,398,570,338	5,168,176,259	230,394,079
特 別 会 計	国民健康保険事業特別会計	1,584,129,177	1,473,232,895	110,896,282
	介護保険特別会計	990,075,383	970,117,064	19,958,319
	後期高齢者医療特別会計	117,445,076	117,146,076	299,000
	農業集落排水事業特別会計	112,222,379	109,542,162	2,680,217
	小 計	2,803,872,015	2,670,038,197	133,833,818
合 計		8,202,442,353	7,838,214,456	364,227,897

質疑・回答

〔総務課関係〕

問 公共施設整備基金の計上額内容を伺う。

また、新庁舎の年間維持管理費（運営管理費）はどの程度を見込んでいるのか。

答 公共施設整備基金の具体的な利用計画は未定である。国からは、総合的・計画的な公共施設の管理計画を策定するよう要請されており、町では28年度の計画策定に向け準備を進めている。その計画に沿うよう、適切な基金の管理に努める。

新庁舎の維持管理費は、年間約1千百万円を見込んでいる。

問 児童福祉費の補正予算額6千5百万円余のうち、5千万円は、保育所整備基金である。この計画は、前年度からスタートしており、補正ではなく当初予算に計上すべきであった。計画の準備不足ではないか。その理由と今後の改善を求める。

答 保育所の整備計画づくりの段階で、具体的な整備財源が決まっていない。整備には多額の町負担が見込まれるので、単年度費用負

担軽減のため、繰越金の剰余金や25年度歳出予算の残額を3月補正で積立てたものである。

問 公共施設整備基金と義務教育施設整備基金の違いは何か。

目的基金が多いが、優先順位の基準は何か。

目的が達したものは廃止し、統合整理できるものは、整理すべきではないか。

答 公共施設整備基金は、小中学校を含めた全ての公共施設の整備改修の財源に利用可能だが、義務教育施設整備基金は、小中学校施設の整備に限られる。

目的が重複し統廃合が可能な基金もあり、内容を精査し、整理を進めたい。

公共施設の老朽化対策、保育所整備、上総一ノ宮駅の東口開設の3点が、最重要課題で、財源確保に優先的に取組みたい。

〔まちづくり推進課関係〕

問 プロポーザル方式を初めて採用した新庁舎建設事業の苦労した点、良かった点等、事業進行上今後の教訓として全体で共有することが大切である。どう評価しているか。

答 良かった点は、設計から着工までに時間ロスがなく、工期短縮のメリットが発揮された。入札不調が全国的な問題だが、当初計画どおりの工期内で完成した。

また、第3者機関によるチェックにより、耐震性や環境性能なども高く、当初の目的が達成された。

問 上総一ノ宮駅周辺環境整備基金には、寄付も含まれるので、駅東口完成までの目標計画や維持管理の経費などを示すべきである。

答 平成24年度に「JR上総一ノ宮駅東口開設基本計画書」を作成したが、資金不足が大きな課題である。

今年、JR東日本千葉支社長や企画室長と意見交換をおこなったが、今後も協議をして経費削減に努めたい。

開設への財源確保が厳しい状況で、資金計画の用途はたたないが、今後各方面からの資金確保を募り、資金計画や年次計画を示せるよう努力する。

〔福祉健康課関係〕

問 子ども医療費助成事業の25年度からの高校生の医療費助成の実績と状況は。

答 昨年8月から補助対象

を高校1年生に拡大し、延べ100件の請求で16万2千7百32円助成した。

〔事業課関係〕

問 住宅太陽光発電システム事業設置補助金の、県・町の負担額は。

町内の事業者に還流できる形が望ましいが、設置の状況はどうか。

町内の設置事業者の状況と町の考えは。

本事業の今後の展開は。

答 1kWにつき県2万円、町1万円を補助し、上限額は1軒あたり3.5kW、10万5千円である。一般の家で、3.5kW設置すると平均事業費は20万円程度で家庭における消費電力の約60%分をまかなえる。

設置状況は、25年度19件中、町内業者は1件。26年度は10件の申請があるが、町の業者はきていない。新築する場合に設置が多く、その建築業者が設置するケースが多い。

町内では2業者がおこなうと確認している。

町では、太陽光発電の積極的促進を考えているので、事業は継続したい。

討 論

《一般会計》

【反対討論】

舩場 博敏議員

臨時議会で提案された海岸駐車場問題は、当初予算の審議に提案されるべきで、予算計上、条例提案の仕方など問題である。

また、小中学校教室のエアコン設置は年次計画で進めるべきであること。国保事業への法定外繰出しによる減税策の必要性があること。ため池や用排水路整備、ポンプ機場の対応には町が事業主体で取り組む必要があることなど、改善を求め反対する。

【賛成討論】

鶴沢 一男議員

歳入では、町税は昨年度を上回る決算となり、職員の税金の徴収強化に取り組む努力があった。庁舎建設基金の有効活用や国の補正予算の積極的活用など、財源確保の努力がうかがえる。

歳出では、新庁舎建設事業、下ノ原通りの歩道整備、一宮小学校屋内運動場耐震改修事業等が実施された。総体的に、限られた財源が有効活用された決算であり、賛成する。



歩道が整備された 1-10 号線
(通称：下ノ原通り)

《国民健康保険特別会計》

【反対討論】

舩場 博敏議員

国保の加入者負担は、今期の税率改訂で所得200万円モデル世帯が38万5千900円と所得の2割近くが保険税となり、モデル世帯1戸あたり、4万5千100円の増税はすべきではなかった。

25年度繰越額、1億1千89万6千2百82円、基金3千25万5千円を見れば一層そのことは明瞭であり、減税を求め反対する。

【賛成討論】

志田 延子議員

国では平成29年度の国保都道府県化に向けて国保改革の検討がされている。

徴収の強化により収納率向上対策を進めた結果、対前年度比約1%の国保税徴収率向上となった。

また、健診、保健指導などにより生活習慣病の予防、早期発見による医療費支出の低減に努めている。今後も厳しい運営状況だが、全体としては適正な決算と判断し賛成する。

《介護保険特別会計》

【反対討論】

鶴岡 巖議員

町には、要支援者のサービス低下を防ぐ配慮と運営が迫られるが、65才以上の高齢化率は29%余、そのうち25年度末の介護別認定者数は578名で約16%である。特別養護老人ホームの待機者対策には実効ある政策展開が必要である。

また、介護保険料の算定にも基準額低減が求められる。制度本来の目的を果たす努力を求め反対する。

【賛成討論】

吉野 繁徳議員

町の高齢化率も30%に近づき、介護保険給付費の増加要因である。

町は、介護保険給付費の支出を抑える適正化事業を実施している。介護度重度化防止事業推進員の増員、定期開催の介護予防教室の充実など、介護保険給付費と介護認定者の抑制に取り組む姿勢は評価できる。本会計が適切且つ効果的に運営されたと判断し賛成する。



耐震改修が終わりきれいになった一宮小体育館

《後期高齢者医療特別会計》

【反対討論】

鶴岡 巖議員

この会計は、医療費の増加と共に負担増となる根本的な問題がある。この高齢者差別に国民の怒りが高まり、制度廃止を求める世論が広がっている。

75才以上の保険料は高齢者人口の増加で上がり、厚労省の試算では、15年後頃には1.5倍に増える。

この制度は廃止し、高齢者に優しい医療のできる老人保健制度に戻すべきと考える反対する。

【賛成討論】

小安 博之議員

本制度は、千葉県後期高齢者医療広域連合が主体となり、保険料は県内で均一である。

高齢者の不安をなくし、保険料の増加を抑え、低所得者の保険料軽減策を継続して、健康で明るい老後を過ごすためにも、適切な決算と判断し賛成する。

保育所整備事業は 職員の増員体制で



鶴岡 巖議員

来年4月から戦後最大の改革と言われる子育て支援制度がスタートする。

新制度の特徴は、児童福祉法に規定されている市町村責任で保育する措置制度から、利用者と事業者（認定子ども園等）との直接契約に変わり、市町村の保育責任と義務を形骸化させ、保育の市場化（民営化）を進めようとしていることである。

町は、保育所の民営化を検討している。しかし、民間事業者を選考する際には、町自身が「民営化の指針やガイドライン」を持ち、その方針に沿った事業者の選考をおこなうことや、現在、保育所で働いている保育士等の身分保障と賃金格差是正の必要があるが、見解を伺う。

また、民営化の方法として、一宮保育所を社会福祉法人化し運営する検討も必要と考えるがどうか。

最後に、こうした事業を進めていくには、担当者を増員し、特別な専従体制を組む必要があると考えるが見解を伺う。

専従体制で 取り組む

玉川町長 保育所の民営化にあたっては、選考委員会にも町の考えを示すために「民営化ガイドライン」を作成する。



また、一宮保育所を社会福祉法人として、法人化させ運営するという提案については、考えがおよんでいなかったため今後、調査・研究を進めていきたい。

保育士の身分保障と賃金格差是正については、現在の正規職員の保育士は、民営化された保育所へ身分・待遇はそのまま町から派遣する。

非常勤の保育士については、事業者が正規職員として採用してもらう考えである。一般的な私立保育所の給与体系に照らして賃金格差は生じないものと考えている。

保育所整備計画を進めていくには、経験のない事業でもあり相当な仕事量もあると考え、担当職員を増員し、専従体制で取り組んでいく。

平成 26 年 第 3 回定例議会 提出議案等 議決結果 (9/17)

番 号	議 案 内 容	審 議 結 果	
承認第1号	平成26年度一宮町一般会計補正予算（第3次）の専決処分につき承認を求めることについて	原案承認	全会一致
認定第1号	平成25年度一宮町一般会計歳入歳出決算認定について	原案認定	賛13・否2
認定第2号	平成25年度一宮町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定	賛13・否2
認定第3号	平成25年度一宮町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定	賛13・否2
認定第4号	平成25年度一宮町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定	賛13・否2
認定第5号	平成25年度一宮町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定	全会一致
議案第1号	一宮町公立保育所の民営化法人選考委員会設置条例の制定について	原案可決	全会一致
議案第2号	一宮町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	原案可決	賛12・否3
議案第3号	一宮町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定について	原案可決	賛12・否3
議案第4号	一宮町いじめ防止対策推進条例の制定について	原案可決	全会一致
議案第5号	一宮町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	原案可決	全会一致
議案第6号	一宮町営テニス場並びにゲートボール場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	全会一致
議案第7号	平成26年度一宮町一般会計補正予算（第4次）議定について	原案可決	全会一致
議案第8号	平成26年度一宮町国民健康保険事業特別会計補正予算（第1次）議定について	原案可決	全会一致
議案第9号	平成26年度一宮町介護保険特別会計補正予算（第1次）議定について	原案可決	全会一致
議案第10号	平成26年度一宮町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1次）議定について	原案可決	全会一致
議案第11号	平成26年度一宮町農業集落排水事業特別会計補正予算（第1次）議定について	原案可決	全会一致
発議第1号	一宮町議会傍聴規則の一部を改正する規則について	原案可決	全会一致
発議第2号	今年の米価下落に当たって生産コストに見合う米価のため緊急対策を求める意見書	原案可決	全会一致

ポンポン船にかわる 観光汽船の考えは



志田延子議員

観光汽船の復活について
昨年12月議会的一般質問
で、印西市木下の「ぶらり

川めぐり」を参考に関係者と協議して行きたいと答弁があった。
復活に向けた前向きな意見もあったと聞くが、その後の町長の考えを伺う。

復活に 向け検討

玉川町長 観光船復活を進めていくにあたり、視察の参加者と協議をおこなう。

その後、住民の中から船の運航や観光ガイド、商店街などに精通している方々を中心に、観光船検討委員会を設置し、船の購入や観光船の管理運営及び観光ガイドの育成などについて検討する。

戦後70年の 町の検証は

①戦後70年を迎え当時を知る人も高齢となつていく。

当時、町には風船爆弾の基地跡があり、玉前神社の旧社務所には中野部隊が置かれ、町内に兵隊が常駐していた。

教育委員会は昭和の一宮について、町民の方から2回聞き取り調査をしている。それを参考に、郷土史研究会等と協力し「ふるさと」「ふる

さと今昔」に続く本を作る最後のチャンスと思うが考えを伺う。

②観明寺の土手に防空壕の痕跡が2ヶ所残っている。ほとんどが姿をとどめていない中、町の中心に残っている貴重な遺産である。

表示板を設置し、後世に伝えて欲しいが考えを伺う。

教育委員 会で検討

町田教育長 ①教育委員

会では、平成20年と24年に「町民が語る昭和の一宮」と題して、戦争体験をはじめ、人々の暮らしや農業、漁業、年中行事などについて、町内のたくさんの方から昔の話を聞いて、冊子にまとめた。

来年は戦後70年という節目に当たる。地域の歴史を後世に伝えるためにも、戦争体験や戦前のできごとについて、これまでで作った内容を参考にしながら、郷土史研究会等と協力してまとめられるように進めていく。



風船爆弾打ち上げ基地跡地

②防空壕は身近な戦跡として全国各地に点在していたが、戦後70年を迎える現在、姿を消しつつある。
空壕についても、町内の戦跡の一つとして、文化財審議委員会に諮り、土地の所有者と協議し検討する。
質問で取り上げられた防

あなたも議会を

傍聴しませんか！

次回は12月9日(火)

午前9時からの予定です

固定資産税の減税は



鵜野澤一夫議員

固定資産税は、毎年1月1日に土地や家屋を所有している人に町が課税する地方税であるが、次の点について伺う。

- ① 土地課税標準額は、地価公示価格の何割か。税率は何%か。
- また、評価の見直しは毎年ごとか。
- ② 家屋の固定資産税はどのように課税しているか。
- ③ 低所得者世帯では、税金を支払うのに苦慮しているが、減税する方策、今年度の減免数、及び減免申請の対応と対策は。

また、相談しやすい電話相談、訪問相談等の検討を求める。



役場屋上から駅方面を望む



規定により 低所得者 は減免

大場税務住民課長 ① 評価額は地価公示価格の7割をめどに評価をおこなっており、地方税法にのっとり、税率は1.4%と定め、評価替えは3年ごとに実施している。

② 家屋評価は新築家屋に対しておこない、当該家屋の翌年度以降の課税については、国で定めた経年減価補正及び物価上昇率を加味して、税額を算出している。

玉川町長 ③ 一宮町減免規定を定めており、担税力がないと認められた場合、救済措置として減免を適用している。本年度の減免件数は6件。

相談窓口については、協議の上、検討する。



一宮川をきれいに

EM菌で 一宮川を きれいに

一宮川の水质を浄化するには、下水道・排水路に流入する生活雑排水や農業用及び工業用排水等をきれいにすることである。次の点について伺う。

① 一宮川流域市町村における合併浄化槽の利用率について

② 農業用・工業用排水の実態について

③ いすみ市は、EM菌を作る機械2台を購入し、浄

状況 を 見 守 る

化槽や川に投入している。当町も検討を希望するが見解を伺う。

小柳事業課長 ① 一宮川流域の合併浄化槽利用率は、一宮町90.7%、茂原市61.9%、睦沢町95.1%、長生村70.6%、長柄町88.8%、長南町94.7%である。

② 農業用排水は、転用申請時にチェックしており、工業用排水は、県が年1回以上の立入検査をおこな



い、水质保全に努めている。

③ EM菌（有用微生物群）は、微生物の複合体で、「環境浄化等に良い」と1994年に発表された。

これに対して、日本土壤肥料学会が、1996年に実施した公開シンポジウムでは「EMは効果が低い」と効果を疑問視された。

福島県では、2008年に「高濃度の有機物が含まれる微生物資材を河川や湖沼に投入すれば汚濁源となる」と見解を発表した。

「水质の悪い場所に投入すると効果はあるが、きれいな場所では逆に有機物で汚染される」という見解である。

EM菌の使用には、もう少ししばらく状況を見守りたい。

ヘッドランド建設 と海の安全対策は



袴田 忍議員

8月16日～17日の千葉日報に、九十九里浜の浜がけについての記事が記載された。

ヘッドランド建設は、浜がけ対策にある程度の成果



海岸に設置されている突堤（ヘッドランド）

があるが「もはや構造物を入れても砂は消えてしまふ」と指摘する専門家もいる。

そうした中で昭和63年から開始され、現在も続くヘッドランド建設は、今後どのような過程で進められるのか。
地元住民も強い関心を持っている。町の考えを伺う。

県は事業 を継続

また、このヘッドランド内で発生する危険な離岸流に対する安全対策をどのように考えているか伺う。

玉川町長 海岸侵食対策のヘッドランド工事は、昭和63年から進められており、

平成22年度から、関係団体長、区長、県、町職員、公募委員で構成されている

『一宮の魅力ある海岸づくり会議』を開催し、侵食対策工事の進め方及び、工法等を議論し、合意形成が得られた事業を、順次おこな

なってきた。

現在10基のヘッドランドが設置され、26年度は2～3号間の、小突堤整備、5号ヘッドランド横堤整備をおこなう予定。

ヘッドランド整備と併せて、平成18年度から、太東漁港の砂を、10トンダンプで約3万4千台分、陸上や海上から投入しており、効果がかなり出ている。

また、ヘッドランド付近で発生する離岸流は、昔から地元で言われる「みよ」

で、沖方面への急激な流れのことであり、具体的な安全対策はなく、各自が注意するしかない。

各ヘッドランドの入口に、危険注意喚起看板を設置しているが、今後子供たちには学校を通じ、海岸利用者には、町有料駐車場や海の家を通じ、パンフレット等で周知していきたい。

通学路の 安全対策は

小中学生の通学路の安全対策について2点伺う。

①通勤通学時間が同時時間帯であることで、危険が増している通学路が数カ所ある。

通学する車道及び歩道の危険箇所への改善対策は検討されているか。

②登下校する子ども達を見守る通学ボランティアの意見交換の場が設けられているのか。

また、支援する人達がボランティア規約を適切に守っているか伺う。

整備改善 を図る

渡邊教育課長 ① 平成24年8月に関係機関と通学路の緊急点検をおこない、整備等を実施した。

さらに通学路の安全確保の取組みとして、3月に「一宮町通学路交通安全プログラム」を策定し、関係機関が合同で危険箇所の点検を実施し、改善整備等をして

いる。

今後、通学路の安全性の向上を図りたい。



通学路の安全点検は

② 現在、ボランティアは249人が登録され、7月10日に意見交換の場として、一宮交通安全協会等の主導で「交通ボランティア講習会」をおこない、約60人が参加した。

活動報告や茂原警察並びに交通安全協会から、講話や実技指導等がおこなわれ、今後も継続して取り組んでいきたい。

また、通学支援に係るボランティアの活動を明確にするため、「子ども見守り支援活動実施要項」を策定した。

町長の平和

認識を問う



舩場博敏議員

平和宣言の 行動を願う

安倍政権が進める戦後政治の総決算路線としての、集団的自衛権行使容認問題と今年の広島、長崎両市長の平和宣言や、被爆者の訴えとはまったく相容れないものであった。

町長は、平和市長会議のメンバーであるが、首長としてどちらの考え方に身をおくのか。平和認識について伺う。

玉川町長 平和首長会議は、「核兵器廃絶の市民意識を国際規模で喚起して核兵器廃絶を実現させるなど世界恒久平和の実現に寄与することを目的としている」。

町では平成7年に非核平和都市宣言をし、駅前にもニュメントも建てている。

私は町長として、この趣旨に賛同し、就任1年後の平成21年6月4日に加盟した。

7月には集団的自衛権の行使を容認する閣議決定がされたが、私は平和宣言のとおり政府には国民の不安と懸念の声に真摯に向き合って耳を傾けることを強く願いたい。



非核平和宣言の塔（一ノ宮駅東側ロータリー内）

政治判断で 国保減税を

「納付書が高くてびっくりした。間違いではないか。」「新庁舎も出来た。今度は税金を下げてくれ。」等の声が寄せられている。

4月からの消費税増税で政府統計でも4～6月期の国内総生産GDPは年率換算で前年比6.8%減となった。

所得200万円モデル世帯が、税額38万3千900円とは耐えがたい額である。

政治判断で国民健康保険

税の減税をすべきである。減税を求める町民の声にどう応えるのか伺う。

予防医療で 医療費抑制

玉川町長 町の国保財政は医療費が増加傾向であり、一方加入世帯は低所得者の増加により平成26年度の国保課税額は25年度と比べ3千8百50万円の減額であり厳しい。

町では保険財政安定化のため特定健診の受診日を土曜日にも開設し、受診率向

上に努め、ジェネリック医薬品の推奨及び国保税の徴収を強化している。

平成29年度国保都道府県化まで国、県へ補助金の増額を要望し、収支の動向を注視しながら円滑な運営を目指すので、ご理解ご協力をお願いしたい。

米価暴落に 緊急対策を

今年の米価暴落はひどい。自民党は「農業・農村所得増目標10ヶ年戦略」をうたったが、実際はまったくそうっていない。

町稲作農家の生産費を償う米価からすれば町全体で1億8千万円の減収である。

対策として、市場にダブっている余剰米60万トンと国の備蓄米として買い入れれば暴落を防ぐことができる。放置すれば取り返しのつかない事態になりかねない。

国に対して、緊急の働きかけを求めるが、見解を伺う。

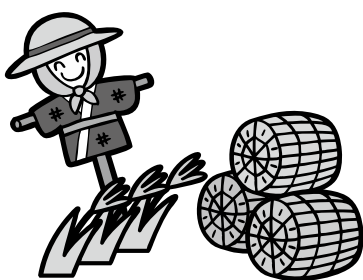
国に 働きかける

小柳事業課長 今年のJA買取価格（良質米1等）は、1俵9千5百円と昨年を大きく下回った。

大量の余剰米が原因でその理由は、日本人の米消費量が極端に減少していること、また国から米の生産調整がでているが、守られていない。

今後余剰米を少しでも減らせるよう、国の配分作付面積にできるだけ近づけるよう協力を願いたい。

玉川町長 他町村と連携し、国が備蓄米として余剰米を買い入れることを働きかける。



保育所計画には 十分な準備を



藤乗一由議員

町保育所整備基本計画に
関して以下の点を問う。
①平成28年春に開園予定の
東浪見こども園（仮称）
の運営事業者を公募する
というが、応募がない場

合の対応は。
②社会福祉協議会（社協）
運営案が、民間の事業者
による運営へと急に変更
になったが、説明が全く
無かった。その根拠や問
題点の検討等もされてい
ないがどうするのか。
③保育所整備の本来の目的
の大きな柱の一つは、財
政改革・コストカットな



食物アレルギーの子どもにも配慮された給食を調理

高師福祉健康課長 ① 民
間事業者の応募が無かった
場合には、社協による運営
も考える。そのため今回社
協への対応の準備を依頼し
た。
② 社会福祉法人の保育所
建設には、国・県・町の補
助金があるが、総事業費の
4分の1以上の事業者負担
が必要で、さらに当面の運
営資金も必要である。その
ため、社協による運営は当
初実施検討されなかった。
玉川町長 ② 今後は専従
の体制で調査準備等を進め
る。
③ 今後の財政面での負担
を考えると保育所建設の経
費も抑えなくてはならな

子育て 会議で検討

のか。
④将来にわたる、一宮町で
の子育て・教育の中で、
保育所のあり方について
の基本理念が無い。それ
にもかかわらず、設置計
画だけが先行することは
問題である。理念や問題
点は、今後どういう場で
検討を進めるのか。

給食の 食物アレル ギー対策は

近年、子どもの食物アレ
ルギーが増加している。小
中学校の給食の現場では、
アレルギーをもつ生徒への
対応に相当な労力が割かれ
ている。一昨年末には、調
布市の小学校で、給食食材
のアレルギーによる死亡事
故例もある。以下について
伺う。
町内の学校の現場での実
態はどうか。
調理室も老朽化し手狭と
なっているが、学校給食の
安全に向けた調理員の確保
や、施設設備の面での十分
な配慮がされているか。
現状の問題点に対する今
後の対応はどうか。

調理員の増 員で対応

町田教育長 7月1日現
在、食物アレルギーへの対
応が必要な生徒は、一宮小
8名。東浪見小1名。一宮
中3名である。
学校給食へのアレルギー
対応は、国のガイドライン
や、県の対応手引きに基づ
き、注意して実施している。
また、教職員のエビペン取
扱い講習も実施した。

給食メニューによつて
は、除去食や代替食で対応
しているが、特に一宮小で
は対応児童が増えたことか
ら、対応食に携わる調理員
の増員をおこなう。
施設設備に関しては、検
査指導に対応して、本年は
トイレの改修などをおこ
ななった。今後でもできるだけ
早く改善を進めていきたく
い。



【用語解説】

1. 食物アレルギー
食品が原因でおこるアレルギー反応のこと。軽い
ものでは発疹・嘔吐など、重いときは呼吸困難等
になる。
2. 除去食、代替食
アレルギーの原因食材等を取り除いた食事を除去
食と言い、代替となる食材を用い同じ形に調理し
たものを代替食と言う。
3. エピペン
急性の過敏症アレルギー（呼吸困難などを起こす
アナフィラキシー）の発症時に使用するアドレナ
リン注射の一種で、症状を一時的に緩和する。

議会報編集委員会

岩手県雫石町を視察

去る7月29・30日の日程で、岩手県雫石町議会の議会広報編集特別委員会を視察研修してまいりました。

「しずくしい議会だよ



議会だよりの編集について説明を受ける委員（雫石町にて）

り」は、平成15年に全国で初めて横書きの紙面につくりかえました。初めは、議会広報クリニックスなどで酷評されるなどかなり批判もあり、賛否両論だったそうです。しかし、今では議会広報全国コンクールで表彰されるなど素晴らしい議会だよりになっていて、横書きの紙面も全国で徐々に増えてきているそうです。

また、内容面でも町民の皆様にも読んでもらうための創意工夫がいろいろとみられました。

例えば、議会だよりに掲載される議員一般質問の写真に吹き出しを付け、議員の本音を一言書き込んであります。

「声」というコーナーでは、議会への一言として住民の方のご意見などを取り上げています。

さらに、町への、お嫁さん・お婿さんから一言として「雫石町へようこそ」と



いう欄もあります。

親しみやすく、町民参加型で、字も大きく読みやすいつくりになっていて大変勉強になりました。

一宮町の議会報編集委員会においても、今回学んだ様々な手法を用いて、さらに皆が分かりやすく読みやすい議会だよりのつくっていきたいと思います。

鶴沢 清永 記

【議長・議員が出席した主な行事】

7月

- 1日 ○長生広域組合議員視察研修(1日～2日)
- 4日 ○長生郡監査委員連絡協議会総会
- 11日 ○第3回臨時議会
- 議会運営委員会
- 議員全体会議
- 議会報編集委員会
- 18日 ○九十九里地域水道企業団例月出納検査
- 19日 ○海水浴場開設式
- 21日 ○笛吹市一心会・一宮町尚武会交流会
- 23日 ○例月出納検査
- 26日 ○第60回茂原七夕まつり記念式典
- 28日 ○愛光保育園起工式
- 29日 ○議会報編集委員会視察研修(29日～30日)

8月

- 1日 ○保育所整備基本計画説明会
- 千葉県町村議会議員研修会
- 2日 ○一宮町納涼花火大会
- 7日 ○長生病院運営委員会
- 11日 ○町村職員自治功労者表彰式
- 16日 ○一宮川燈籠流し
- 17日 ○長南町花火大会
- 20日 ○決算審査(20日～23日)
- 例月出納検査
- 21日 ○九十九里地域水道企業団例月出納検査
- 26日 ○長生広域組合議会定例会
- 長生広域組合議会運営委員会
- 29日 ○九十九里地域水道企業団理事会

9月

- 6日 ○第19回上総国一宮まつり
- 9日 ○議会運営委員会
- 議員全体会議
- 議会報編集委員会
- 17日 ○第3回定例議会
- 19日 ○例月出納検査
- 22日 ○長生郡町村議会議長会臨時会
- 26日 ○新庁舎落成式

議会の主な動き(平成26年7月～9月)

編集後記

野山の木々も色づき始めてくる季節となりました。

町議会選挙後の初議会により、議会の新たな体制が決まりました。

それに伴って議会報編集委員もメンバーが大幅に変わりました。これを機に、この議会だよりの紙面を通じ、町民の皆様にも議会の活動をより多く知っていただくために、紙面がより見やすく、わかりやすくなることを目指して編集をすすめたいと考えます。

また、町民の皆様の声も取り入れられるような紙面づくりも進めたいと考えますので、よろしくご協力をお願いいたします。

藤乗 一由 記

発行 一宮町議会

編集 議会報編集委員会

発行日 平成26年12月3日

TEL 0475(42)1421(直)